

医師の働き方改革に関する検討会における主な論点案 (第2回検討会における議論を踏まえた更新版)

1 医師の勤務実態の正確な把握と労働時間の捉え方

- 医師の勤務実態の精緻な把握
- 労働時間への該当性
- 宿直業務の扱い
- 自己研鑽（論文執筆や学会発表等）や研究活動の扱い

2 勤務環境改善策

(1) 診療業務の効率化等

- タスクシフティング（業務の移管）、タスクシェアリング（業務の共同化）の推進
- AIやICT、IoTを活用した効率化
- その他の勤務環境改善策（仕事と家庭の両立支援策等）の検討

(2) 確保・推進策

- 医療機関の経営管理（労働時間管理等）の在り方、意識改革
- 勤務環境改善支援センターの機能強化、地域医療支援センター等との有機的連携
- 女性医師の活躍支援
- その他勤務環境改善のための財政面を含む支援の在り方

3 関連して整理が必要な事項

- 時代やテクノロジーの変化を踏まえた、医師の応召義務の在り方
- 病院の機能（特に都市部を含む救急や産科）、医師の偏在、へき地医療等、適切な地域医療提供体制の確保との関係
- 医師の労働時間の適正化、医療の利用の仕方に関する国民の理解

4 時間外労働規制等の在り方

- 時間外労働規制の上限の在り方
- 医療の質や安全性を確保する観点からの勤務の在り方
- 適切な健康確保措置（休息・健康診断等）の在り方